

令和元年度 第1回成田市空き缶等及び吸い殻等散乱防止審議会 概要

1. 日時

令和元年11月20日(水)

午前10時00分～午前11時30分

2. 開催場所

成田市役所 6階 中会議室

3. 出席者

(審議員)：小倉義夫 会長・宮崎廣文 委員・谷芳紀 委員・岩館秀明 委員・細野弘 委員・
岩野富士郎 委員・保延正廣 委員

(事務局)：宮本和人 環境部長

クリーン推進課：黒田高良 課長・須向範之 係長・江澤加代子 主任主事・
藤川和郎 主事・浅野正幸 主事

4. 議題

- (1) 会長の選出について
- (2) 副会長の選出について
- (3) 成田市の美化運動への取り組みについて
- (4) 平成30年度先進地視察報告
- (5) その他

5. 会議の概要

(1) 会長の選出について

全会一致にて、成田商工会議所の代表として選出された小倉義夫委員を会長とすることに決定。

(2) 副会長の選出について

全会一致にて、成田市区長会の代表として選出された宮崎廣文委員を副会長とすることに決定。

(3) 成田市の美化運動への取り組みについて

成田市では美化運動について、大きく3つの取組みを行っている。

1つ目は環境美化運動で、5月・8月・12月に基準日を設け、市内の自治会や団体などの協力を得て、散乱ごみの収集を行うもの。昨年30年度は、5月の第1回が221団体・23,002人、8月の第2回が160団体・17,983人、12月の第3回が195団体・22,161人が参加した。

2つ目は駅前清掃美化事業で、京成成田駅周辺の清掃活動をシルバー人材センターに委託しているものである。京成成田駅周辺をきれいに保つことを目的と、元旦及び駅前クリーン運動予定日を除き、毎日30分清掃を行っている。

3つ目は駅前クリーン運動で、毎月21日に商工会、市職員を中心として駅周辺の清掃活動を行うものである。平成30年度は延べ2,716人が参加した。

これに加えて、例年、成田祇園祭の開催に合わせて、ポイ捨て禁止についての啓発文が印字されたうちわを配付している。成田祇園祭実行委員会本部に500枚、参加している各団体に100枚ずつ、計1,500枚を配布した。

全ての取組みについて、今後も継続していきたいと考えている。

(4) 平成30年度先進地視察報告

昨年度の視察先、狹山市の取組みを報告。

駅や観光地周辺を路上喫煙禁止地区に指定し、当該周辺地域に設置された喫煙所には、喫煙マナーと当該地区内での路上喫煙の禁止を呼び掛ける掲示がなされている等、啓発物資が駅周辺の利用者の目に入りやすい工夫がなされていた。

当該地周辺は一見してごみは見受けられず、こうした啓発物資が市民のポイ捨てや路上喫煙の抑止力として一定の効果をあげていることが考えられた。

狹山市は、ポイ捨てだけでなく、路上喫煙禁止も明確に定めている点が成田市のポイ捨て禁止条例との大きな違いであり、成田市の環境美化事業と比較して発展した取組みを確認することができた。

(質疑)

・環境美化事業先進地としての狹山市視察だが、視察で得た情報等を、今後成田市としていかに活用するのか。

→成田市は他市と異なり、地元住民に加えて観光客を考慮しなくてはならないため、他市の取組みをそのまま実行するのは難しい。ゆえに、他市の活動を学ぶことで見聞を広め、実現可能性のある取組みがあれば、実行していくという姿勢である。

(5) その他

(質疑)

・市内の数ヶ所に「広めようポイ捨て禁止の合言葉」と表記した看板があるが、経年劣化に伴い文字が見えなくなっている。修繕等をお願いしたい。

→現場確認のうえ、現状に即した対応をする。

・JR成田駅周辺で喫煙所はどこにあるのか。

→JR成田駅西口のエレベーター付近にある。また、参道入口のたばこ屋の前にも設置されている。

・ポイ捨て審議会とは無関係だが、プラスチック製容器包装の分別について、もっとわかりやすくできないものか。

→11月1日号の広報なりたで、ごみの特集を行った。出前講座などの地道な啓発活動をとおりして、引き続き周知・啓発に努める。

7. 傍聴者
なし